

# 輝け! 葵 HEROES!

~磨け! 自分らしさ 挑め! さらなる高みへ!~



発行所  
岡崎市立葵中学校  
(電話 21-0171)  
(FAX 21-0172)

3月卒業号

## 第75回 卒業証書授与式 卒業おめでとう



〈3年時〉修学旅行



〈2年時〉スキー研修



〈1年時〉海の学習

### ひかる

校長 荻須 文裕

今年の冬は、雪がよく降りました。とは言え、積もるほどではなく、薄らと白くなった校庭を目にすることが、

幾度もありました。学校ではパンジーの黄色や紫色が、薄雪の花壇から透けるように見えました。微笑ましく、また力強い生命力も感じたものです。

早朝、ネックウォーマーに首をうずめて生徒たちが登校してきます。そして元気な挨拶とともに、昇降口の階段を上っていきます。またその傍らでは、緑化委員の生徒が、手袋をポケットにしまい、じょうろで水をやっていきます。慈しむようにそっと根元に注ぐ手元には、温かさがあります。春はもうすぐです。

三年生が旅立ちの時を迎えました。コロナ禍で大変な思いの二年間を過ごした生徒たちです。それでも思い出されるのは、いつも明るい笑顔と笑い声の絶えない休み時間の廊下です。そして、ずっと手を挙げて自分の考えを言い合う授業の教室です。

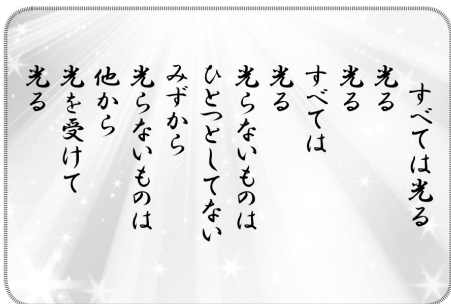
迫真の演舞に仕上げた「葵の舞」も、自律ある態度を買った修学旅行も、拍手喝采がわき起った文化祭も、いつも輝いていた三年生でした。

学年の掲げたテーマは、入学してから三年間貫いた

『飛光輝』（ひこうき）

です。この言葉のように、これから進む世界でも、輝く光を放ち大空を飛び回ってほしいと願います。

昨年の葵中新聞三月号にも記した話です。教職について間もない頃、学級通信に「ひかる」というタイトルを付けました。これは、詩人・坂村真民さんの、次の詩にちなんだことでした。



みずから強き光を放つもよし。他の光を受けて静かに光るもよし。卒業生二五五名の未来に幸多かれと祈ります。

# 三年間の思い出

## 挑戦

### 三年一組

思えば今年も、挑戦の一年でした。元来目立つことを好まない私にとって、図書委員長への挑戦は、まさしくそれに代表されます。挑戦続きの委員会活動でしたが、その中でも生徒総会での活動報告がいちばん記憶に残っています。全校生徒へ向けた発表という初めての経験に、緊張で頭が真っ白になってしまいました。しかし、たくさんの先生方にアドバイスや激励の言葉をいただいたことで緊張はほぐれ、無事に発表を終えることができました。

この経験は、私にとって大きな挑戦だっただけでなく、自分が困っているときに助けてくれる人がいるというありがたみを改めて実感する貴重な機会になりました。

## 学びの多かった授業

### 三年一組

三年間の中で心に残った授業は、数学で取り組んだ「学び合い」です。生徒同士で分からないところを教え合い、全員が目標達成を目指すという授業です。僕はそこで、数学の内容はもろんのこと、困ったら躊躇せず教えを乞うということ、助けられる人は工夫して教えるということなどが社会に出てからも必要な姿勢を学ぶことができました。

進歩してからも、人との話し合いの大切さを学んだ「学び合い」を生かし、多くの人と議論し、さらに自分の視野を広げていきたいと思っています。

## 大切な仲間と

### 三年三組

私は見ている人に感動を与える「葵の舞」にしたいという思いがありました。そこで実行委員として踊りを中心に教えまし

た。一人一人に気を配り、スローで教えることを意識しながら行いました。私自身も指先まで力を込め、扇子を美しく回せるように、誰にも負けなく練習を重ねました。学年練習では、初めはあまり出なかった声、後ろの方から大きく聞こえるようになったとき、私も負けられないと思うようになりました。仲間から力をもらい、大切な仲間と踊れる喜びを感じました。学年全員で「葵の舞」をやり切れたことは最高の思い出です。

## 最後の体育大会

### 三年四組

コロナ禍だったので、当初は行われなかつたかと思われた体育大会でしたが、縮小という形で行われました。縮小されたことは悲しかったですが、行われることがわかることでもうれしく感じ、開催を決めてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。そこで僕は「葵の舞」を舞うときに体育大会が実施できるといふ感謝の気持ちをもって舞いました。舞い終わったときには、やりきったという強い達成感がありました。



**▲葵の舞**  
この経験を生かして、今後の人生で常に感謝の気持ちと優しい気持ちをもって生きていきたいと思っています。

## 二年生の思い出

### 三年五組

二年生の思い出はたくさんありますが、まずは体育大会の「黒船太鼓」です。私たちの代でのこの演目が終了するにあたって責任を感じながら練習に取り組みました。冬にはスキー研修へ出かけました。初心者が多く、最初は雪上で立つことも難しかつ

たのですが、だんだんと滑れるようになりました。立志の式では周りのたくさんの人に支えられていることを知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私は文化祭でステージに出演しました。一か月間練習したものの、人前に出ることが苦手な私は不安でした。でも、友達と一緒に練習したりクラスの子が応援してくれたりしたので、堂々と踊ることができました。友達のおかげです。

いつも私の周りには学年の仲間がいて助けてくれました。ありがとうございました。

## 一年生の思い出を振り返って

### 三年六組

僕が一年生の時を振り返って、思い出に残っていることは、海の学習と体育大会です。海の学習では、学年のみんなで地引網体験をしました。普段できない経験であり、学年全員で協力して取り組めたことが思い出に残っています。



**▲夢おどる**  
「夢おどる」では、最初は振り付けを覚えるのが難しかったですが、練習をしていくうちに上達し、だんだんと楽しくなってきました。本番でも、学年全員で楽しく踊ることができていたことが思い出に残っています。

## 中学校バレーの集大成

### 三年七組

私はバレーボールを小学生のときから続けています。中学校に入学し、コロナ禍の中でこの活動が続く、思うようにバレーボールに取り組む環境ではありませんでした。だからこそ、限られた時間の中で、自分たちには何が足りないのか、コート内やブレイクの合間、給水のときに話し合いをしまし



**▲市長杯**  
た。それで、最後の大会は全員が三年間の集大成として気を引き締めて臨むことができたと思います。しかし、西三大会では納得のいく結果が出せませんでした。つらく悔しくて、多くの涙を流し、自分を責めることもありました。でも、周りの仲間が支えてくれたおかげで、今の自分があると思います。三年間このチームでバレーボールができて、本当によかったと今思っています。

## 三年間の思い出

### 開発学級

三年間でいちばんの思い出は「葵の舞」です。最初は踊りが難しかったけれど、クラスの仲間と教わりながら必死に練習し、本番では自分の力を発揮できたことがうれしかったです。先輩から学んだ、最後まで頑張る力を生かすことができました。また、先輩として後輩に優しく教えるながら一緒に楽しく学校生活を送ることができました。

## 開発学級での思い出

### 開発学級

私の思い出は、開発の友達と一緒に楽しく遊んだことです。私が一年生のときに、先輩と鬼ごっこをしていた頃は、足が運くて悔しい思いをしました。だから、速く走れるようになりたくて練習しました。そして体育大会で一〇〇m走の競技に挑戦できるまでになり、うれしかったです。



▲伊達の黒船太鼓

# 卒業生に贈る言葉

## やっつらっちゃん!

三年学主任  
君たち主任

君たちとの三年間。厳しいことを言ったこともある。君たちの反応を見て、自分の言葉の弱さに不安を感じたこともある。それでも、自分が考えうる、君たちの「幸せ」につながるだろうと、思うこと全てをぶつけてきた。

「幸せ」かどうか、「幸せ」を感じられるかどうか、全ては自分次第。周りの誰かのせいでは、決していない。

「やっつらっちゃん」。うまくいかなかったときにも思い出ししてほしい。この気持ちさえあれば、絶対に「幸せ」になれるから。

## 幸せな三年間をありがとう

二年一組担任

みんなと過ごした三年間、笑ったり、喜んだり、悔しがったり。そんな毎日の繰り返しの中から、少しずつ成長していったみたいで、少しずつ成長していったみんな。みんなの成長を一番近くで見ていることができた私は、とっても幸せ者だと思えます。

これから新しい一歩を踏み出すみんな。きっと、楽しいことばかりではないはず。苦しいことも待ち受けている。でも、みんなのすぐそばには、支えてくれる仲間がいます。仲間を大切に、前向きに歩んでいてください。そして、いつまでも「飛光輝」のように光り輝き続けてください。いつまでも応援しています。卒業おめでとう。

## 学び合ひの姿

三年一組担任

みんなが熱心に学び合っている姿が印象深い。自分たちで教え合い、さまざまな手段を用い

課題を解決する授業。困っている人に優しく寄り添う姿。放課になっても熱心に教え合う姿。苦手でもあきらめずに行動する姿。どの姿も足で踏み出した。

自らの手と目で踏み出す一歩こそ、人生を切り拓きつづけていく。学び合う姿の中には一人一人が、そしてみんなが幸せに生きられる社会をつくっていくためのヒントがあったと思う。三年間、心からありがとう。

## ありがとう

三年三組担任

四月にこの学年に仲間入りし、最初の学級的时间「どんな学級にしたいか」という質問も、多くの子が「一人も見捨てない」と答えました。とても温かい学級・学年だと感じました。そしてこの一年、そんな姿を多く見るのができました。特に、「葵の舞」。仲間のために思い、必死になって踊りを教え合う姿。素敵でした。そんなみなさんと、一緒に葵の舞をつくり上げることができて幸せでした。一年間ありがとう。卒業おめでとう。

## 三年間の歩み

三年四組担任

Time flies like an arrow. 本当にあつと年間。とても自分の身のある三年間でした。学年を盛り上げよう、さらによい集団にしようと級長を中心に全員で行ったさまざまな活動。どうやって伝えようかと試行錯誤しながら取り組んだ英語の授業やCOI。最善、最高を目指し、みんなで完成させたスキー研修や修学旅行。みんなの思いは尽きません。どんなことにもやっつらっちゃん」の気持ちで胸に、光り輝く「飛光輝」を目指し「一生懸命に取り組んできたみんなと共に過すことができてとても幸せでした。

最後に、あなたたちの最大の武器は、優しさと挑戦しようとする勇気です。これらのごことをこれからも大切に、あなたたちらしくがんばっていきましょう。

## 卒業おめでとう

三年五組担任

四月は出会いの季節。葵中学校に来て顔を合わせた「やっつらっちゃん」学年。これまでの二年間で仲間や先生方と築き上げてきた「自律」した姿、今年度はさらに「創造」を加え、どんなことにもチャレンジし、自分の考えを伝えられる中学生に成長した。みんな共に過ごした一年間は、何物も代えがたい月日であった。ありがとう。この仕事を任せていてちびっちゃんらしいことは、卒業後のみんなの活躍。この三年間で吸収したことを生かして、さらなる進歩を見せてほしい。三月は、別れの季節。いつかどこかで出会ったときに、大きくなったみんなに会えることを楽しみにしているから。

## 楽しい日々をありがとう

三年六組担任

みんなと過ごした日々を思い起こすと、スキー研修や修学旅行と行った行事はもちろん、放課や給食、課外授業はたくさんみんなの楽しい思い出が思い起されます。中学生になっても人懐っこく話しかけてくれるみんなだったからこそ、楽しい日々を過ごすことができました。ありがとう。

最後に、名言を一つ送ります。「できない」には「本当にできない」と「しんどくてやりたくない」の二種類がある。そして大抵の夢は「しんどそうでもやりたくない」の先に光っているって

## 出会いと選択

三年七組担任

三年生のみなさん卒業おめでとうございます。人生は「出会い」と「選択」の連続です。一つ一つの出会いを大切に、人生の登場人物となってくれた人々に感謝していきましょう。そして「選択」。さまざまな場面において選択を迫られる状況に立たされるでしょう。そのときは思い出しつづけてほしい、心がわくわくする方を選択する。「迷ったときは前へ出る」です。笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

## 挑戦 そして 大成長

進路指導専任

数学科の授業で「なぜ?」と聞く私。繰り返し手を挙げて答えるみなさん。その結果、根拠をもって説明できるようになった姿。「葵の舞」で、旗の重さにふらつきながら、歯を食いしばって大きく振る姿。自分たちで企画・運営して学年レクを作り、盛り上げる姿。

挑戦は人を大きく成長させるということ。みなさんから学びました。一年間、わくわくを毎日をありがとう。

## 祝 卒業!

副担任

わくわくしながらみなさんとの出会いを迎えてから、本当にあつという年。一年です。真剣に授業で学び合う姿、行事に精いっぱい取り組む姿、気持ちのよい挨拶や返事ができる姿。そして明るい笑顔。みなさんのよいところをたくさん知り、一緒に過ごすことができたことに感謝しています。これから先たくさん学び、たくさん花を咲かせてください。みなさんの進む道が光り輝くものでありますように。ずっと願っています。卒業おめでとう!

いるだけで……

副担任

みなさんと出会えたことに感謝します。国語の授業で書いた「憧れの大人について」の作文を覚えていますが。私は、みなさんの書いた作文を前に、身が引き締まる思いがしました。今みなさんがもっている大人や社会に対する真つすぐな目をこれからも忘れないでください。でも、いちばん伝えたいことは、「あなたたちは、そこにいます。卒業おめでとう。」だということです。

それぞれの道で一生懸命に

開発A組担任

最初はできなかったこともあきらめずに努力し、勇気をもって一歩踏み出せるようになってきました。この三年間、成長していき姿を見て、私のがんばろうと思えば、どんなことも一生懸命取り組んでいきます。必ず手を差し伸べてくれる人が現れます。みんなのよさを生かし、周りの人と助け合いながら、自立できる大人になってほしいです。社会の中で一歩一歩成長するみなさんをずっと応援しています。

努力すること挑戦を

開発B組担任

顔をもらいました。人を笑顔にするパワーを持っているみなさんと出会えてとても幸せです。これからはそれぞれの道に進むことになりまます。その道では、努力が必要になってくる人もいでしょう。努力して絶対に成功するとは限りませんが、絶対に成長することはできます。努力することに挑戦してほしいと思います。卒業おめでとう。そして、幸せな三年間をありがとう。

在校生から卒業生へ  
「先輩方ありがとうございました」

憧れの先輩

一年三組

どんなときでも練習に励む吹奏楽部の先輩たちは、私の憧れです。先輩たちはほんのなごきでもひたすら練習していました。休憩時間など空いている時間を見つけて、一分一秒でも多く練習していました。文化祭のステージ発表では、緊張してははずなのに、先輩たちはそれぞれのソロパートを堂々と演奏していて、とてもカッコよかったです。ひたむきに練習できる先輩たちだからこそ、こんなにもすばらしい演奏ができたのだと思っています。

僕たちの憧れ

二年二組

一つ一つの物事に対して真剣に取り組む姿。それは僕たちにとって目指すべき目標となりました。体育大会での「葵の舞」では息の合った迫力のある演技にとっても感動しました。また、部活動では最後の一分一秒まであきらめずに戦っている姿はとてまごきよく、憧れでした。そんな先輩方が積み上げてきた葵中学校の伝統を、今度は僕たちが二年生がついでいきます。今度僕たちにくさんの感動や勇気を与えてくれたありがとうございました。これからも夢に向かってがんばってください。

優しい先輩

開発B組

三年生との思い出は、たくさんあります。特に、昼放課に鬼ごっこをしたことがとても楽しかったです。また、体育大会では葵

中のリーダーとして、「葵の舞」を見せてくれました。僕も今後、先輩たちに教えてあげられるようにがんばりたいです。高校に行っても、勉強や運動などをがんばってください。

三年生と過ごした思い出

開発A組

三年生はとてもかっこいい先輩でした。特に、「葵の舞」では、力強い踊りとけじめのある姿がとてもかっこよかったです。私ももう少し先輩になりたいです。三年生のようになつてい先輩になりたいです。三年生のようになつてい先輩になりたいです。三年生のようになつてい先輩になりたいです。三年生のようになつてい先輩になりたいです。

表彰の記録

- 西三河剣道大会 女子剣道部 三位
- 県中学校総合体育大会 スキー競技女子回転五位

四月の予定

- 六日(水) 新三年入学式準備
- 七日(木) 新形式・入学式・始業式
- 八日(金) 給食開始(個人写真(二年) 学級写真(全学級) 学級写真(全学級) 火災避難訓練
- 一日(月) 委員会
- 二日(火) 身体測定(全学年)
- 四日(木) 午前四時間授業・給食あり
- 五日(金) 新入生歓迎会
- 九日(火) 全国学力・学習状況調査(三年)
- 一日(水) しまわりプロジェクト
- 二日(木) P T A総会・授業参観
- 三日(金) 生徒議会
- 六日(日) 岡崎学力検査(三年)
- 二七日(木) 総体選手激励会
- 二八日(金) 市総合体育大会
- 三〇日(日) 市総合体育大会

※授業参観日の代休は五月二日(月)となります。



言葉の重み

一年主任

今年度から葵中学校に赴任し、一年が経とうとしている。この二年、葵中学校の四季それぞれの表情のすばらしさは驚かされている。春には色鮮やかな花々が目に映り、夏には命を感じる緑の香りが漂ってくる。秋には鳥や虫の美しい声が耳に入り、冬には厳しい寒さとともに陽だまりの暖かさを感じることができる。自然豊かな学校で生活できることは、とても幸せなことである。

ふと思うことがある。見ようとしてなくても見えるものがあり、嗅ごうとしてなくても香るものがある。そして聞こうとしてなくても感じるものがある。しかし、言葉はどうだろうか。出さうとしていないのに出る言葉はない。思いをもって言葉を出している言葉である。そこに言葉の重みがある。

言葉の重みを考えるとき、ある力士の言葉を出している。その力士が三十歳の遅咲きで新入幕を果たしたときのインタビューでの言葉。「さらななくてよかった」。自分より年下の力士に番付を追い越されていく中で、諦めず、ひたむきに努力を続けてきた背景がこの言葉から読み取れる。そこにも言葉の重みがある。

言葉は人を幸せにすることもでき、傷つけることもある。自分の生き方を語ることもできる。生きている上で言葉は必要不可欠なもの。SNSで簡単に言葉を出すことができる今だからこそ、言葉の重みを生徒も、私たちも知らなければならぬ。